

汚れ防止

汚れ防止壁紙は、フィルム加工を施したもので、所定物質の拭取りに対して「4～5級」の優れた汚れ防止性能を有しています。
 汚れ防止壁紙は4種類あります。また、フィルムには「エパール®フィルム」と「ファンクレア®フィルム」の2種類があります。

エパール®フィルムの特長

エパール®フィルムを使用している商品には
 汚れ防止 ハードタイプ S/Hードタイプ と表示しています。

表面強度	表面が硬く、キズが付きにくくなっています。ただし、表面形状によって、表面強化性能を有していないものがありますのでご注意ください。
油汚れに強い	水汚れはもちろん、しつこい油汚れも拭取ることができます。また、タバコの煙汚れが付きにくくなっています。
抗菌	大腸菌や黄色ブドウ球菌の増殖を抑制する性能があります。また、安全性にも優れています。
耐薬品性	耐薬品性に優れています。

※詳細は各品番の機能性表記および1ページの「機能性壁紙・リフォーム推奨品・長期継続品 品番一覧」などをご確認ください。エパール®フィルムは株式会社クラレの登録商標です。

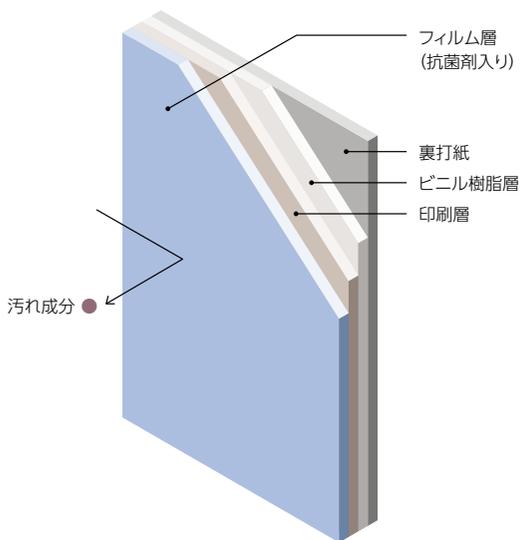
ファンクレア®フィルムの特長

ファンクレア®フィルムを使用している
 商品には「汚れ防止F・消臭」と表示しています。

施工性	フィルムに柔軟性があり、出隅やジョイントが取りやすく、施工性に優れます。特に寒冷地での施工性に効果を発揮します。
水汚れに強い	水廻り用途におすすめの性能です。また、施工時に付いた糊が拭取りやすく、拭残した糊も乾燥後は薄膜状となって剥がれます。
抗菌	大腸菌や黄色ブドウ球菌の増殖を抑制する性能があります。また、安全性にも優れています。

ファンクレア®フィルムはグンゼ株式会社の登録商標です。

■ 構成概念図



■ 汚れ防止性能

汚染物	コーヒー	醤油	クレヨン	水性サインペン
除去剤	水	水	中性洗剤	中性洗剤
エパール®フィルム	5級	5級	5級	4級
ファンクレア®フィルム	5級	5級	4級	5級
一般ビニル	2～4級	2～4級	1～3級	1～3級

※汚れ防止性能は商品によって多少異なります。目安としてご覧ください。

等級	判定基準	＜汚染物＞	＜試験方法＞	＜判定方法＞
5級	汚れが残らない	コーヒー、醤油、クレヨン、水性サインペン	壁紙工業会制定「汚れ防止壁紙性能規定」に準拠。各汚染物を規定されたおりに表面に付着させ、24時間放置後所定の除去剤にて丁寧に拭取る。	上表の判定基準にて、4級以上の性能を満たしたものが合格となる。
4級	ほとんど汚れが残らない			
3級	やや汚れが残る			
2級	かなり汚れが残る			
1級	汚れが濃く残る			

■ 抗菌性能試験結果

抗菌活性値	
大腸菌	黄色ブドウ球菌
2.0以上	2.0以上



■ エパール®フィルムの耐薬品性能「汚れ防止壁紙性能試験」に準拠(級)

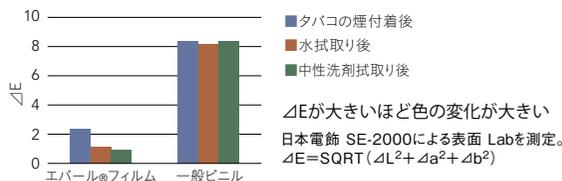
	エパール®フィルム	一般ビニル(淡色)	一般ビニル(濃色)
次亜塩素酸ナトリウム(5%)	5	5	2
アルコール消毒液(エタノール95vol%)	5	5	3
過酸化水素水(オキシドール)	5	5	5
ウェルピス	5	5	3
クレゾール石鹼液(3vol%)	5	4	3
ポビドンヨード(10%)	5	3	3

＜試験方法＞
 各種薬品に24時間接触させた後に、水または中性洗剤で拭取り評価する。

■ エパール®フィルムのタバコ煙成分防汚性試験結果

タバコの煙汚れや臭いが付きにくくなっています。

■ タバコの煙成分に対する防汚性・拭取り性評価



＜試験方法＞
 金属製の20ℓペール缶の底に火を点けたタバコ5本を置き、その缶の上に台紙に貼付けたフィルムサンプルを置く。これを8回繰返す(トータルでタバコ40本分、1バッチ10min)。その後、水拭き、中性洗剤で拭取り、ΔEを測定する。

上記データは代表値であり、保証値ではありません。使用状況や気象条件などによって若干異なります。



フィルム抗菌汚れ防止・消臭

柔軟性に優れたファンクレア®フィルムの消臭タイプです。

ファンクレア®フィルムの特長および汚れ防止性能は3ページをご参照ください。「消臭性能」は7～8ページをご参照ください。

<取扱い上のご注意>

■ 汚れ防止 ■ フィルム抗菌汚れ防止・消臭

- 表面のフィルムが破損すると、その部分は汚れ防止の機能が失われます。傷が付かないようご注意ください。汚れを拭取る場合は、柔らかい布や歯ブラシを使用してください。
- 壁紙に多量の水は厳禁です。汚れを拭取る際は、固く絞った布を用いてください。ジョイントなどに染込んでしまうと、ハガレやシミの原因となりますのでご注意ください。
- タバコのヤニ汚れのように、長期間にわたって蓄積された汚れは完全に拭取ることは困難です。
- 「汚れ防止」壁紙とは、汚れが付着しないものではありません。汚れが内部に浸透しないよう、表面にフィルム加工を施すことで汚れを落としやすくしたものです。

<施工上のご注意>

■ 汚れ防止 ■ フィルム抗菌汚れ防止・消臭

- 天井への施工は、光の加減により壁面よりも下地が目立ちやすく、施工時の難易度がさらに高くなるため避けてください。
- 一般ビニル壁紙と比べ、施工難易度が高いため、施工費が割増しとなります。あらかじめご了承ください。
- 糊付け時は大ききたたみ、上積みは避けてください。強くたたむと折れジワが付くことがあります。
- 薄手でフィルムによる光沢があるため、下地の凹凸を拾いやすく、丹念にパテ処理を行い、下地を平滑に仕上げてください。
- 塩ビ樹脂層に汚れ防止フィルム（エパール®またはファンクレア®）をラミネートしているため、硬さがあり、施工時にはエアが抜けにくく、低温時には反りやフクレが発生しやすいため注意が必要です。
- 糊だまりによる不陸やヨコシジの発生に注意が必要です。特にダウンライトや間接照明、窓からの斜光による環境下では特に目立ちやすくなります。施工の際は必ず本設照明と同じ、もしくは同等の環境下での確認をお願いいたします。
- 表面から糊の水分がほとんど乾燥しないため、吸水性の低い下地（コンクリート、モルタル等）への施工は、難易度がさらに高くなります。

下地を平滑にして、濃いめの糊で施工してください。また、出隅部やジョイント部には、必要に応じて捨て糊を行ってください。20ページからの「施工上のご注意」、21～22ページの「商品別施工上のご注意」を併せてご確認ください。

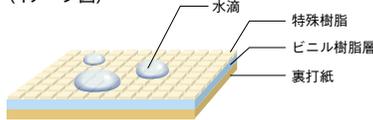


撥水

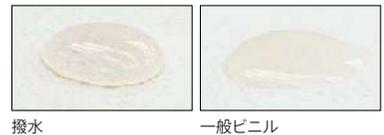
水汚れが付きにくく、お手入れが簡単です。

- 水玉状に水汚れを弾くので、素早く簡単に拭取ることができます。
- 柔軟性があり扱いやすく、糊も拭取りやすくなっていますので、施工性に優れます。

撥水壁紙の構造
(イメージ図)



撥水性比較



<取扱い上のご注意>

■ 撥水

- 汚れが付着した場合は、水または中性洗剤を用いて拭取ってください。ただし、汚れの種類によっては完全に拭取れない場合があります。
- 表面に特殊樹脂コート処理を施しています。ただし、完全な被膜とはなっておりませんので、水系の汚れでも長時間放置されると、壁紙内部に浸透して取れなくなることがあります。付着後は速やかに拭取ってください。
- 汚れを拭取る場合は、柔らかい布や歯ブラシを使用してください。
- 壁紙に多量の水は厳禁です。汚れを拭取る際は、固く絞った布を用いてください。ジョイントなどに染込んでしまうと、ハガレやシミの原因となりますのでご注意ください。
- 汚れ落ち性能を重視される場合は、「汚れ防止」壁紙のご使用をおすすめします。

■ 特性比較一覧表(目安)

機能性	汚れの付きにくさ	汚れの取れやすさ (付着直後)	汚れの取れやすさ (長時間放置後)	施工難易度
撥水	○	○	△	○
汚れ防止「エパール®」	○	◎	○	△～X
汚れ防止「ファンクレア®」	○	◎	○	△
一般ビニル壁紙	△	△	△～X	○

<評価基準> ○…良好 △…注意 ×…難しい

上記データは代表値であり、保証値ではありません。使用状況や気象条件などによって若干異なります。

抗ウイルス壁紙

- 壁紙表面の抗ウイルス性成分がウイルス数を減少させます。
- 抗菌性に優れ、清潔さを保ちます。



SIAA
ISO 21702
抗ウイルス加工
有機系抗ウイルス剤・
コーティング表面層
JP0612352A0002W



SIAA
抗菌加工
有機系抗菌剤・
コーティング表面層
JP0112352A0001Q

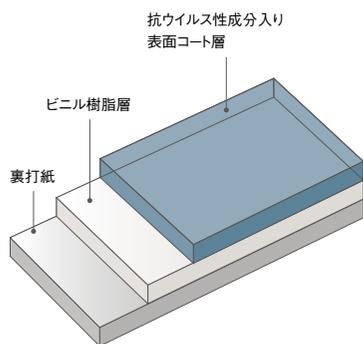
東り抗ウイルス壁紙はSIAA抗ウイルス加工・SIAA抗菌加工登録品です。

製品上の特定ウイルスの数を減少させます。

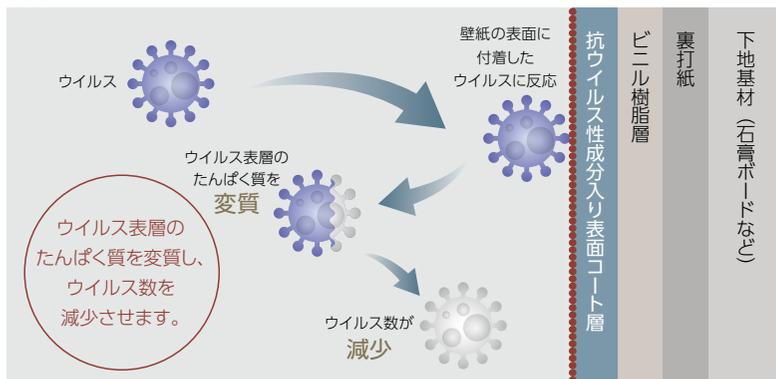
SIAAマークは、ISO21702法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会がガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

- 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- SIAAの安全性基準に適合しています。

■ 構成概念図

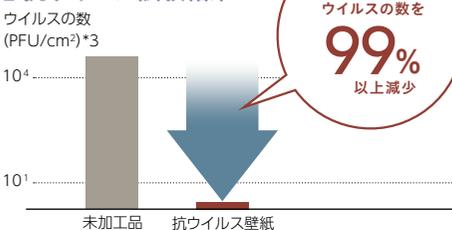


■ 抗ウイルスメカニズム



<イメージ図>

■ 抗ウイルス試験結果



試験機関：(一財)ニッセケン品質評価センター
試験方法：ISO21702 法
試験ウイルス：ウイルスA *1 (エンペローブなし *2)

- 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- SIAAマークはISO 21702法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

*1 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（業機法）の関係上、特定のウイルス名が表記できないため、「ウイルスA」と記載しています。

*2 ウィルス粒子に見られる膜状の構造。

*3 PFU: Plaque-forming unitの略で、プラーク法により測定したウイルス数の指標。

■ 抗菌性能試験結果

抗菌活性値	
大腸菌	黄色ブドウ球菌
2.0以上	2.0以上

■ 使用薬剤の安全性

項目	薬剤データ
急性経口毒性	>2,000mg/kg
皮膚一次刺激性	刺激性なし
変異原性	陰性
皮膚感受性	陰性

- SIAAの安全性基準に適合しています。
- ウイルス自体を忌避する効果はありません。
- 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。また、感染予防を保証するものではありません。
- 医薬品や医療機器などの医療を目的とした製品ではありません。
- 抗ウイルス性能は全てのウイルスに対して発現するものではありません。また、全てのウイルスに同様な試験結果が得られるとは限りません。
- 表面の状態(汚れ、摩耗など)により抗ウイルス性能が低下することがあります。

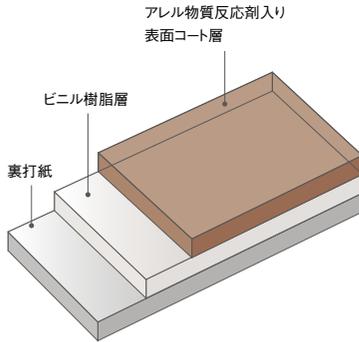
上記データは代表値であり、保証値ではありません。使用状況や気象条件などによって若干異なります。一定の条件下の試験結果であり、実使用空間での実証効果ではありません。



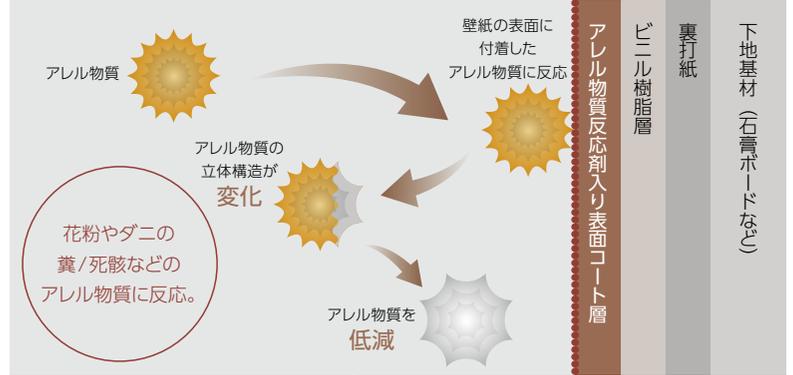
抗アレルギー物質壁紙

抗アレルギー物質壁紙は、壁紙表面に付着したダニの糞や死骸、花粉などのアレルギー物質に反応します。

■ 構成概念図



■ 抗アレルギーメカニズム



<イメージ図>

1. 付着

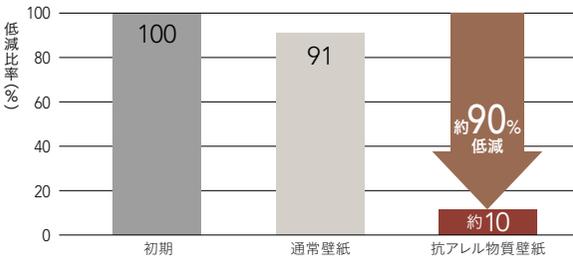
人が外出先からアレルギー物質を室内に持ち込んだり、床に落ちているアレルギー物質が、室内の空気中に浮遊して、壁紙表面に付着。

2. アレルギー物質を低減

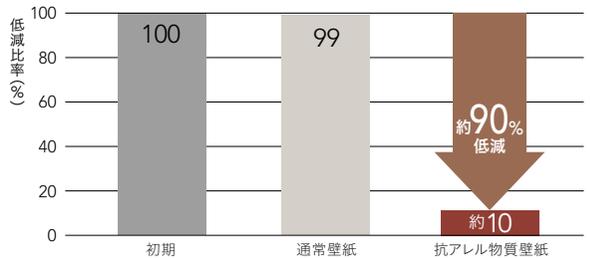
壁紙表面にコーティングしているアレルギー物質反応剤と反応して、アレルギー物質を低減。

■ 抗アレルギー物質性能試験結果

■ ダニアレルギー物質



■ スギ花粉アレルギー物質



<試験方法>

壁紙表面にダニアレルギー物質液またはスギ花粉アレルギー物質液を5分間接触させ、液を回収し評価液とした。ELISA法(酵素免疫測定法)にて、評価液中のダニアレルギー物質またはスギ花粉アレルギー物質を測定した。ELISA法:文部科学省告示第60号(2009年3月31日制定)「学校環境衛生基準」に定める測定方法。

■ 抗菌

抗菌性能があり、清潔な空間を保つことができます。(抗菌性能につきましては11ページをご参照ください)



抗アレルギー物質壁紙について

- 壁紙表面に付着したダニの糞や死骸、花粉などのアレルギー物質に反応しますが、これにより室内でのアレルギー物質の低減を保証するものではありません。また、アレルギー体質を改善するものではありません。
- アレルギー物質対策には、日常におけるこまめな清掃や、花粉などを外から室内にできる限り持ち込まないような工夫がより重要です。

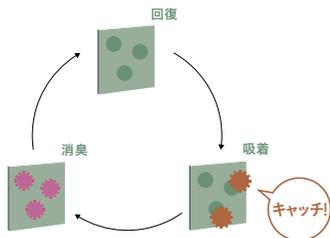
上記データは代表値であり、保証値ではありません。使用状況や気象条件などによって若干異なります。一定の条件下での試験結果であり、実使用空間での実証効果ではありません。



サイクル消臭

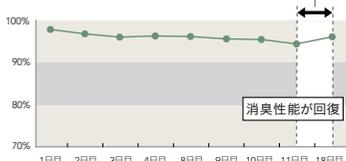
気になる臭いの原因物質を吸着・消臭。
サイクル型なので効果は長時間持続します。

■ サイクル消臭のメカニズム



■ 消臭性能試験

<試験結果>



上のグラフから次のことが確認されました。

- ・繰返し試験で、常に高い消臭性能を維持している。
- ・1週間放置後でも消臭性能が回復している。

<試験方法>

- ①容量5ℓのテドラバッグに20cm×20cmのサンプルを入れ、ホルムアルデヒド(40ppm)を3ℓ注入する。
- ②24時間ごとにバッグ内のホルムアルデヒド残量をガス検知管にて測定し、その除去率を求める。
- ③測定終了後、再びスタート時と同じ濃度に調整し、測定を繰返す。



抗菌防臭・消臭

銀イオン (Ag⁺) の抗菌防臭性能と消臭性能のダブル効果によりお部屋をクリーンにします。即効性の抗菌力を発揮する銀イオン (Ag⁺) が臭いの元となる雑菌の繁殖をシャットアウト。臭いの発生を未然に防ぎます。

■ 抗菌性能試験

<試験結果>

わずか3時間で、規定値である「<0.63」の性能を発揮しています。

菌種	抗菌性		
	0時間	3時間	
大腸菌	1.8×10 ⁴	抗菌防臭・消臭	<0.63
		無加工品	2.2×10 ⁴
黄色ブドウ球菌	1.3×10 ⁴	抗菌防臭・消臭	<0.63
		無加工品	1.2×10 ⁴

<試験方法>

5cm×5cmの大きさのサンプルを抗菌品と無加工品にて用意し、上から試験菌液を滴下した後フィルムをかぶせ、温度35℃、相対湿度90%以上で3時間培養し、培養後の生菌数を測定する。



「抗菌防臭・消臭」に使われている抗菌剤は抗菌化研株式会社の特許を取得している銀イオン抗菌剤「LunarSilver」を使用しています。「LunarSilver」は取扱いが難しい銀イオンを高濃度で安定化させ、イオン状態を長く持続させることに成功した銀水溶液です。

急性経口毒性試験、皮膚一次刺激性試験、皮膚感作性試験、変異原性試験、細胞毒性試験などで高い安全性が実証されています。

<http://www.antimicrobial.co.jp/>



光触媒消臭

消臭剤と光の効果で悪臭を消臭します。

- 日中は、太陽光や蛍光灯などの光の効果と消臭剤により消臭効果を発揮します。
- 光が当たらない夜間でも、消臭剤が悪臭を吸着して消臭効果を発揮します。

■ 消臭性能

消臭剤と光の効果で悪臭成分を消臭。消臭剤には許容量があるため、消臭効果は徐々に失われます。

■ 抗菌

抗菌性能があり、清潔な空間を保つことができます。

(抗菌性能につきましては、11ページをご参照ください)



フィルム抗菌汚れ防止・消臭

抗菌・汚れ防止性能に優れたファンクレア®フィルムの「消臭タイプ」です。ファンクレア®フィルムの特長である汚れ防止性能や抗菌性能、柔軟性などはそのままに消臭性能をプラスしました。いやな臭いも吸着消臭しますので、快適な空間が長持ちします。

「汚れ防止性能」および「取扱い上のご注意」等につきましては、3~4ページをご参照ください。

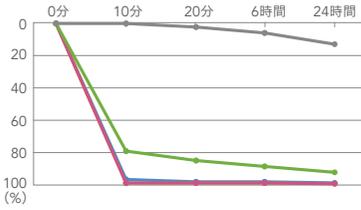
「抗菌性能」につきましては、11ページをご参照ください。

上記データは代表値であり、保証値ではありません。使用状況や気象条件などによって若干異なります。また、消臭効果は環境や悪臭の程度によって異なります。あくまでも目安としてご覧ください。

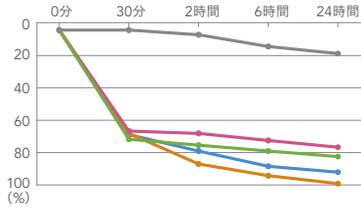
優れた消臭性能!

消臭する臭いの物質

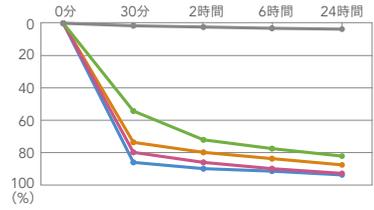
■ アンモニア (初期濃度200ppm)



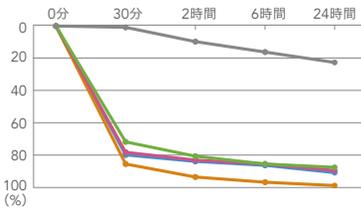
■ メチルメルカプタン (初期濃度40ppm)



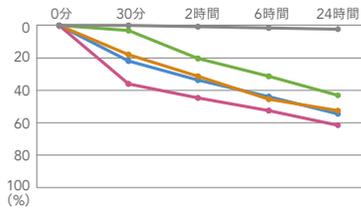
■ ホルムアルデヒド (初期濃度80ppm)



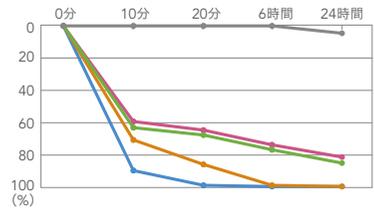
■ トリメチルアミン (初期濃度60ppm)



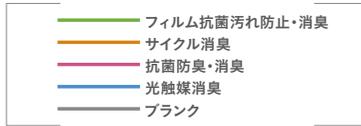
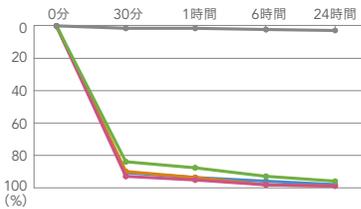
■ アセトアルデヒド (初期濃度80ppm)



■ 硫化水素 (初期濃度20ppm)



■ 酢酸 (初期濃度100ppm)



<試験方法>

- ①20cm×20cmの壁紙サンプルの裏面及び断面を覆い、表面のみを露出させる。
- ②容量5ℓのテドラーバッグに壁紙サンプルを入れ、規定濃度の悪臭ガスを3ℓ注入する。
- ③所定時間ごとにバッグ内の悪臭成分の残量をガス検知管にて測定し、その除去率を求める。

<使用上のご注意>

消臭機能は、臭いを完全になくすことを保証するものではありません。臭いの感じ方には個人差があり、環境によっても効果や持続期間に差が生じます。

上記データは代表値であり、保証値ではありません。使用状況や気象条件などによって若干異なります。また、消臭効果は環境や悪臭の程度によって異なります。あくまでも目安としてご覧ください。



表面強化

表面強化は、傷が付きにくい壁紙です。所定の試験方法（5回往復）にて「4～5級」の優れた性能を有しています。

<試験結果>

	5回往復
表面強化壁紙	4～5級
一般ビニル壁紙	3級以下



<試験方法>

壁紙工業会制定「表面強化壁紙性能規定」に準拠。所定の摩擦子（荷重200g）を取付け、試験片の上を5回往復させて傷付き程度を目視にて評価する。

<判定基準>

等級	判定基準
5級	一見視で特に変化が見られない
4級	多少表面傷が見られるが、比較的大きな表面層の破れ等は見られない
3級	表面層の破れが明確に見える
2級	表面が破けて紙等の裏打材が明らかに見える（長さ1cm未満）
1級	表面が破けて紙等の裏打材が明らかに見える（長さ1cm以上）

<選取上のご注意>

- 表面強化には、汚れ防止性能を持ったものもあります。詳細は各品番の機能性表記および1ページの「機能性壁紙品番一覧」などを参照ください。
- 表面強化は、表面のすり傷やひっかき傷を低減するものであり、傷付きを完全に防止することを保証したものではありません。鋭利なものや重量物などでは、傷付きや破れ等の発生することがありますのでご注意ください。



防汚ハードタイプ

通常の表面強化壁紙に比べ、すり傷と衝撃に強い壁紙です。また、表面のエパール®フィルムにより汚れが取れやすくメンテナンス性に優れています。傷付きと汚れでお困りの方におすすめです。エパール®フィルムの「汚れ防止性能」および「取扱い上のご注意」につきましては、3～4ページをご参照ください。

<試験結果>

	5回往復（200g）	30回往復（200g）
防汚ハードタイプ	4～5級	4～5級
汚れ防止・表面強化（上記を除く）	4～5級	3級以下
一般ビニル壁紙	3級以下	—



<試験方法>

壁紙工業会制定「表面強化壁紙性能規定」に準拠。所定の摩擦子（荷重200g）を取付け、規定（5回往復）の6倍にあたる30回往復させて、表面の傷付き程度を目視にて評価する。

<判定基準>

等級	判定基準
5級	一見視で特に変化が見られない
4級	多少表面傷が見られるが、比較的大きな表面層の破れ等は見られない
3級	表面層の破れが明確に見える
2級	表面が破けて紙等の裏打材が明らかに見える（長さ1cm未満）
1級	表面が破けて紙等の裏打材が明らかに見える（長さ1cm以上）

<選取上のご注意>

- 防汚ハードタイプは、表面のすり傷やひっかき傷を低減するものであり、傷付きを完全に防止することを保証したものではありません。鋭利なものや重量物などでは、傷付きや破れ等の発生することがありますのでご注意ください。



防汚スーパーハードタイプ

防汚ハードタイプ壁紙に比べ、より、すり傷に対する強度があります。また、表面のエパール®フィルムにより汚れが取れやすくメンテナンス性に優れています。傷付きと汚れでお困りの方におすすめです。エパール®フィルムの「汚れ防止性能」および「取扱い上のご注意」につきましては、3～4ページをご参照ください。

<試験結果>

	5回往復（200g）	30回往復（200g）	100回往復（400g）
防汚スーパーハードタイプ	4～5級	4～5級	4～5級
防汚ハードタイプ	4～5級	4～5級	3級以下
汚れ防止表面強化（上記を除く）	4～5級	3級以下	—
一般ビニル壁紙	3級以下	—	—



<試験方法>

壁紙工業会制定「表面強化壁紙性能規定」に準拠。所定の摩擦子の2倍の荷重（400g）を取付け、規定（5回往復）の20倍にあたる100回往復させて、表面の傷付き程度を目視にて評価する。（40倍相当）

<判定基準>

等級	判定基準
5級	一見視で特に変化が見られない
4級	多少表面傷が見られるが、比較的大きな表面層の破れ等は見られない
3級	表面層の破れが明確に見える
2級	表面が破けて紙等の裏打材が明らかに見える（長さ1cm未満）
1級	表面が破けて紙等の裏打材が明らかに見える（長さ1cm以上）

<選取上のご注意>

- 防汚スーパーハードタイプは、表面のすり傷やひっかき傷を低減するものであり、傷付きを完全に防止することを保証したものではありません。鋭利なものや重量物などでは、傷付きや破れ等の発生することがありますのでご注意ください。

<施工上のご注意>

- 表面強化
- 防汚ハードタイプ
- 防汚スーパーハードタイプ

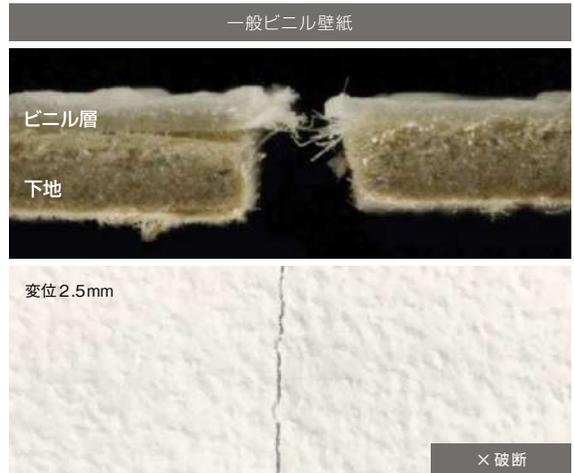
下地を平滑にして、濃いめの糊で施工してください。また、出隅部やジョイント部には、必要に応じて捨て糊を行ってください。20ページからの「施工上のご注意」、21～22ページの「商品別施工上のご注意」を併せてご確認ください。

上記データは代表値であり、保証値ではありません。使用状況や気象条件などによって若干異なります。



ストレッチ

■ 特殊配合により壁紙表面のビニル層にストレッチ性があります。
下地の動き(ズレ・歪み)で生じる軽微なひび割れを軽減します。



<試験方法>

厚紙に両面テープを貼った試験片で引っ張り試験を行い、変位量(2.5mm)における壁紙の裂け具合を評価した。
引っ張り試験速度: 10mm/min

<取り扱いのご注意>

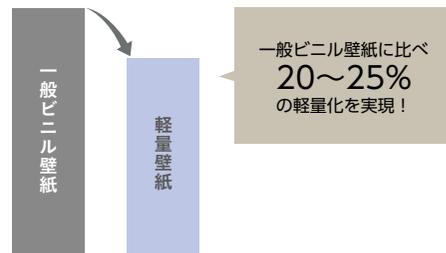
■ ストレッチ

壁紙のストレッチ性によりひび割れを軽減しますが、ひび割れが起こらないことを保証するものではありません。



軽量

■ 軽量タイプなので運搬、搬入時の負担を軽減できます。
厚みと軽量を両立しており、天井施工にもおすすめです。



上記データは代表値であり、保証値ではありません。使用状況や気象条件などによって若干異なります。

機能性説明



抗菌

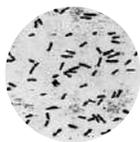
抗菌は、抗菌剤によって壁紙表面に付着した菌（大腸菌や黄色ブドウ球菌）の繁殖を抑制する壁紙です。試験後の生菌数が、規定値である「<0.63」の性能を有しています。

■ 抗菌性能試験結果

菌種	抗菌性		
	0時間	24時間	
大腸菌	2.1×10 ⁴	抗菌品	<0.63
		無加工品	6.8×10 ⁵
黄色ブドウ球菌	1.9×10 ⁴	抗菌品	<0.63
		無加工品	5.7×10 ⁴

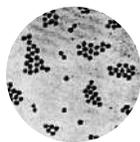
<試験方法>

壁紙工業会制定「抗菌壁紙性能規定」に準拠。5cm×5cmの大きさのサンプルを、抗菌品と無加工品にて用意し、上から試験菌液を滴下した後フィルムをかぶせ、温度35℃、相対湿度90%で24時間培養し、培養後の生菌数を測定する。



大腸菌

本来は人や動物の腸管内に常在する有益な菌だが大腸以外の場所に侵入すると膀胱炎や髄膜炎を引き起こす。



黄色ブドウ球菌

典型的な化膿菌。食品中で増殖、毒素を生成。下痢、嘔吐、食中毒を引き起こす。

<取扱い上のご注意>

■ 抗菌

- 大腸菌、黄色ブドウ球菌の菌種に対して、増殖を抑制する性能があります。ただし、感染を直接阻止するものではありません。
- 壁紙表面が汚れに覆われると、十分な抗菌性能が発揮できない場合があります。



防かび性

壁紙表面のカビの繁殖を抑制します（所定の試験方法にて「0」の性能を有しています）。なお、デコパワーに収録の壁紙は、全点「防かび性」です。

■ 試験結果の表示方法

菌糸の発育	結果の表示
肉眼及び顕微鏡下でかびの発育は認められない	0
肉眼ではかびの発育が認められないが、顕微鏡下では明らかに確認できる	1
肉眼でかびの発育が認められ、発育部分の面積は試料の全面積の25%未満	2
肉眼でかびの発育が認められ、発育部分の面積は試料の全面積の25%以上～50%未満	3
菌糸はよく発育し、発育部分の面積は試料の全面積の50%以上	4
菌糸の発育は激しく、試料全面を覆っている	5

<試験方法>

壁紙工業会制定「防かび壁紙性能規定」に準拠。カビを壁紙表面に付着させ、温度24±1℃または29±1℃、相対湿度90%以上で培養する。4週間後、試験片の表面に生じた菌糸の発育状態を肉眼と実体顕微鏡で観察する。

<取扱い上のご注意>

■ 防かび性

- 防かび性壁紙だけでカビを防ぐことはできません。
- モルタル等の湿式下地や、石膏ボード直張り工法（GL工法等）およびパテ・シーラーを施した箇所は十分に乾燥させてから施工してください。特に防かび性が要求される場所では、糊に防かび剤を添加することがより効果的です。
- カビは室内環境に大きく影響を受けます。室内の換気、湿度調整等にご注意ください。

上記データは代表値であり、保証値ではありません。使用状況や気象条件などによって若干異なります。